

令和7年度第6回川口市朝日環境センター施設整備審議会 議事録

- 1 開催日時 令和7年4月25日(金)
午後2時00分～午後3時30分まで
- 2 会場 川口市役所 鳩ヶ谷庁舎3階 306会議室
- 3 出席委員 (1) 川口市朝日環境センター施設整備審議会委員：15名
市民 : 大谷委員、大塚委員
学識経験者 : 八鍬会長、藤原副会長、橋詰委員
民間団体からの選出者：田中委員、小林委員、林委員、藤田委員、
石川委員、中原委員、浅羽委員、中村委員、
上倉委員、今井委員

(2) 事務局：18名
須藤環境部長、板橋資源循環課長補佐、岩田環境施設課長、
平山朝日環境センター所長、岩下リサイクルプラザ所長、
塚平鳩ヶ谷衛生センター所長 他5名
公益社団法人全国都市清掃会議 奥津技術部課長
パンフィックコンサルタンツ株式会社 山崎技術課長 他5名
- 4 欠席委員 0名
- 5 傍聴人 3名
- 6 議事等 議事
(1) 環境学習機能について
(2) 災害への備えについて
(3) その他

7 審議会議事録

1 開会	
2 議事	
(1) 環境学習機能について	
事務局	資料1「朝日環境センターにおける環境啓発について」に基づき説明。
委員	現在、建設費が高騰しており、環境啓発機能についてはバランスよく整備しないと、コストがかかるものの効率的に整備できないという傾向がある。また、定期的な更新を行わないと内容が陳腐化してしまうという問題点がある。 市内の他ごみ処理施設との連携や、市としての環境啓発方針をより詳細に検討する必要がある。
事務局	承知した。現在整備されているものを活用し、過剰なコストをかけないようにしつつ、より良い見せ方を検討していく方針で計画していく。
委員	1点目として、朝日環境センターは小学生の社会科見学先として活用されており、見学を行った小学生の環境意識は変化しているように見受けられたため、見学は効果的だと感じている。コロナ禍をきっかけに小学生の見学機会が失われているようであるが、新施設では市内の子どもたちが実際に訪れ見学できるよう、市内で連携いただきたい。 2点目として、見学対応しているボランティアがいるが、近年、高齢化等によって案内体制の構築が難しいように感じている。整備後の見学対応体制について検討いただきたい。 また、市内施設で環境啓発機能のコンセプトについてすみ分けを行い、新戸塚環境センターでは生物多様性をテーマとするとのことである。朝日環境センターでは資源循環型社会の形成をテーマに機能整備を行うようであるが、市民にとっては環境対策をテーマ毎に認識している訳ではないため、本施設では循環型社会の形成に加えゼロカーボンの視点も盛り込んだ整備を行っていただきたい。
事務局	現地での見学・体験は重要な項目と捉えており、小学生だけではなく親世代も訪れ学べるよう、同じ施設で多くの効果が発揮できるような施設整備を行っていききたい。 2点目については、案内体制については事業方式も決定したことも踏まえ焼却施設の運営事業者で適切なリスク分担の上、整備していききたい。また、案内がなくとも見学ができるような、展示の全自動化等も視野に入れ検討を行っていききたい。 最後にゼロカーボンは外せないテーマであることは認識しているため、エネル

	ギー回収の観点からしっかりと導入していきたい。
委員	<p>ゼロカーボンの視点の導入について、焼却施設に限った話ではなく、住宅の断熱化や再生可能エネルギーに関する展示の充実など、市民に近い部分での取組方法も紹介いただきたい。</p> <p>また、リサイクルプラザの展示ホールについても、現在はゼロカーボンの視点との関連性を確保するのが困難であり、その活用が十分にできていないという印象を受けている。実際に活用する際も展示方法が難しいときがある。再整備にあたっては連携性を重視した施設としていただきたい。</p>
事務局	承知した。ゼロカーボンのテーマについては見学者廊下の中で何等かで取り扱う想定とし、リサイクルプラザとの連携確保も意識して進めていく。
事務局	市内施設の環境啓発機能について、コンセプトのすみ分けを行う想定ではあるものの、詳細な検討は進んでいないため、循環型社会の形成を基本に、市内各施設で展示内容の検討を進めたいと考えている。
(2) 災害への備えについて	
事務局	資料2「朝日環境センターにおける災害への備え（再整備後）」に基づき説明。
委員	必要以上の対策はコストに大きく影響するため、バランスよく整備していくことが重要と考えている。要求水準書や仕様書にどう盛り込んでいくかは今後の検討内容と思われるが、慎重に検討するとよろしい。
事務局	承知した。ご意見踏まえて整備検討を行っていく。
委員	現在、リサイクルプラザ棟の電源設備はどこにあるのか。災害対策が行われているのかを伺いたい。
事務局	リサイクルプラザ棟の電源設備は地下にあり、平成17年のゲリラ豪雨によって地下駐車場が浸水し、電気設備が被害を受けた。そのため、現在は地下駐車場の入口に止水板を設置している。
委員	朝日環境センター周辺において、荒川の氾濫時に想定されている最大浸水深が3m程度であり、止水板が効果を発揮できるのかが不安である。
事務局	朝日環境センターの施設整備に伴い、リサイクルプラザ棟の電源設備について対応を想定している。現在、リサイクルプラザは焼却棟から給電を行っているが、焼却棟の解体時には再度電気設備を接続する必要がある。その工事の際に、浸水した場合でも影響を受けないような高所に電源設備を整備する等の対策を行えるよう、検討を進めていく。
委員	<p>2019年に発生した大雨の際に近隣住民がリサイクルプラザに避難したようだが、当時は公には避難施設とは指定されていなかった。</p> <p>今回の資料では、周辺市民が避難できなかった場合に高台として利用可能であ</p>

	ると記載されているが、今後、避難施設としてハザードマップに掲載されるなど、周知されることになるのか。
事務局	リサイクルプラザ棟は廃棄物処理施設のため、防災計画上の指定避難所とする予定はない。ただし、災害時に一時的な避難先として活用いただくことを妨げる意図はないため、地域住民にも周知させていきたいと考えている。
議長	避難所の指定は自治体に依るが、廃棄物処理施設が指定避難所となる事例は少ない。基本的には広域避難所への避難を想定いただくものの、避難が難しい場合はリサイクルプラザにて一時避難が可能であることを近隣住民には説明することになると思われる。ただし、公の書面等では指定避難所にはならないとご理解いただければよろしい。
議長	非常用自家発電設備はどこ施設にもあり、以前は停電時に安全に焼却炉を停止するために設備を設けていた。しかし大きな災害の際は施設を一時停止させ点検を行う必要があり、停電状況であった場合でも非常用自家発電設備を用いて稼働が可能となるよう、整備することが主流となっている。 また、薬品についても、東日本大震災の際に、施設の被害やインフラの復旧も済んでいるなか、薬品の調達ができず運転再開ができないという事例があった。その過去を教訓とし、稼働再開において必須である薬品を備蓄する想定となっている。
(3) その他	
事務局	資料3「第5回審議会資料の修正案について」に基づき説明。
委員	BT0方式の定性評価について、第5回審議会資料では金利が上がっていくといった趣旨の記載があったものの、今回は財政支出の平準化効果が高いと評価されている。今回の書きぶりを踏まえると、金利によるトータルコストの増加というデメリットが読み取れないが、BT0方式を評価してよいのか不安である。
事務局	金利によるコストの増加は課題としてあるものの、今回は平準化という観点での評価を行っている。
委員	平準化という側面で評価が高いことは理解した。ただし、金利によってトータルコストの増加は市民として問題であり、金利のリスクについて評価する必要があると考える。
事務局	金利についてのご指摘は定量評価において評価を行っている。前回までは金利リスクを定量評価と定性評価の2重で評価を行っていたが、金利については定量評価で評価することとしている。
委員	定量評価についても、定性評価のように表で纏めていただくとはよいのではないか。
事務局	定量評価の実施結果についての資料において数値としてまとめているが、意見踏まえて資料3に追記する。

委員	事業方式の選択においては自治体により、支出の平準化という観点も非常に重要である。ただ、金利のリスクは無視できるものではないため、金利の影響はあるものの平準化が期待できる等、定性評価の書きぶりを少し調整すれば分かりやすいのではないかと。
事務局	承知した。意見を踏まえて総合評価部分の書き方を調整する。
議長	金利のリスクは無視できないものの、各自治体の考え方によって選択する手法は異なる。川口市も焼却施設の整備だけでなく、他様々な施設やインフラの整備を行う必要があり、その中で平準化が必要という判断を行うことも当然あり得る。現在の結論としてはDBO方式を第一候補として進めるものの、平準化を踏まえてBTO方式を採用する可能性も踏まえて最終的な検討を行うことになる。
委員	総合評価において、金利動向に留意する必要がある旨を追記することでいかがか。
事務局	承知した。意見踏まえて再検討を行う。
議長	全体を通して何か意見・質問はあるか。他になければ本日の議事を終了とする。
事務局	次回の第6回審議会は、令和7年6月24日（火）14時より、リサイクルプラザ4階研修室にて開催する。
4 閉会	

会議の概要については、以上のとおりです。

令和7年5月25日

川口市朝日環境センター施設整備審議会

会 長.....(八鍬会長署名).....

委 員.....(藤田委員署名).....